

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

静岡県 第2回地域セミナー 報告書

2018（平成30）年5月29日（火）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」第2回静岡県地域セミナーが開催されました。当日は、静岡県のオリンピック・パラリンピック教育推進校の先生方45名（小学校23名、中学校7名、高等学校15名）にご来場いただき、下記の要領で盛会の裡に終了いたしました。

【開催概要】

日時：2018（平成30）年5月29日（火）14時00分～16時30分

会場：静岡県産業経済会館 大会議室

主催：静岡県教育委員会、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：45名

プログラム：

14:00～14:05 静岡県教育委員会健康体育課 課長 名雪 元 氏

「開会の挨拶」

14:10～14:50 早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 研究員 岡田 悠佑 氏

「オリンピック・パラリンピック教育の取り組み」

14:50～15:20 静岡県教育委員会健康体育課 教育主査 鈴木 淳矢 氏

「静岡県における平成29年度の取組及び事業説明について」

15:20～15:30 静岡県立伊東高等学校 校長 成田 優 氏

「昨年度の取り組みの実践例について」

15:30～15:35 休憩

15:35～15:55 事務手続きの説明

15:55～16:10 質疑応答

16:10～16:30 グループに分かれて意見交換

開会行事では、静岡県教育委員会健康体育課課長の名雪元氏より主催者挨拶がありました。本事業に参画して2年目となる今年度は、静岡県や各市の特色を生かした実践を推し進めて、何よりも児童や生徒達にとって財産となるような経験を提供していきたい、と抱負を述べられていました。



名雪 元 氏



会場の様子



岡田 悠佑



成田 優 氏

続いて、本センター研究員の岡田悠佑より、「オリンピック・パラリンピック教育の取り組み」というテーマで発表がありました。発表では、本事業の概要の説明に加えて、各種学校でオリンピック・パラリンピック教育を実施するための方法について、実践事例を踏まえながら説明がありました。実践事例に関しては、昨年度の取り組みの中で、各地域の特性を活かした実践、学校全体で取り組んだ実践、近隣の学校と連携して取り組んだ実践などについて紹介がありました。また、実際に授業等で活用できる「オリンピック・パラリンピックノート」(WASEDA ROPE)、「オリンピック・パラリンピックに関する指導参考資料」(スポーツ庁)、「I'm POSSIBLE」(日本パラリンピック委員会、日本財団パラリンピックサポートセンター)、「夢に向かって 車いすアスリートの挑戦」(デジタル教材：本センター)について、資料の活用の仕方などの紹介がありました。

次に、静岡県教育委員会健康体育課教育主査の鈴木淳矢氏より、「静岡県における平成 29 年度の取組及び事業説明について」というテーマで発表がありました。発表では、昨年度の静岡県での実践例も踏まえながら、実際にオリンピック・パラリンピック教育を各校で進めていく手続きについて詳細な説明がありました。また、昨年度の実践校を代表して静岡県立伊東高等学校校長の成田優氏より、講師を探す手順やオリンピック・パラリンピアンと生徒が接した際の様子などについて紹介がありました。さらに成田氏からは、先生方が本事業を楽しんで行うことが生徒達へのよい影響につながっていくことや、キャリア教育などの各学校における既存の目標や課題と組み合わせて実践を行うことでより効果が高まっていくこと、などのアドバイスもいただきました。

休憩後の質疑応答では、予算の使用用途や報告書の提出方法などについて、参加された先生方から質問が出ました。



意見交換の様子①



意見交換の様子②

最後に、参加された先生方に 6 名程度のグループに分かれていただき、各校における現在の事業計画や実施上の課題などについての協議が行われました。その際、各グループには、昨年度の推進校の先生が配置され、協議の中で出た質問に対応していただいたり、昨年度の実践を元にアドバイスをされたりしていました。所定の時間となり、盛況の中、散会となりました。